

迎

春



身近で頼れる議会を 目指して

平泉町議会議長 高橋 拓生

明けましておめでとうございます。年頭に当たり、議会を代表して町民の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。日ごろから議会へのご理解と、議会活動に対する温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、未だ終息に至らない新型コロナウイルス感染症にあっては、罹患された皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、医療従事者、介護・福祉従事者をはじめ、観光業、飲食業、交通事業、農業などの大変困難な状況に立ち向かっているすべての皆さまに心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

昨年は北京五輪・パラリンピックやサッカーワールドカップカタール大会など、国際的なスポーツ大会で日本の選手たちが大いに活躍し、勇気と感動を与えてくれました。一方、当町では新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、3年ぶりに春の藤原まつり東下り行列の開催など、さまざまな行事が再開され、本来の平泉町の姿を取り戻しつつある年となりました。しかし、年末には新たに第8波に入るなど、まだまだ予断を許さない状況となっております。

町では、長引くコロナ禍、ウクライナ情勢や円安などの影響による物価高騰を受け、本年も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策および地域経済の立て直しが急務と

なっております。さらに、想定を超える自然災害に対する防災対策、人口減少対策、教育・福祉の充実など、課題が山積しています。議会として、さまざまな町政課題の解決に向け、しっかりと議論を重ねるとともに、町民の皆さまの声を町政に的確に反映させるため、懇談会を予定しております。

私も議会は、令和6年4月で任期満了となり、本年が議会として総括の年となります。導入したタブレット端末のさらなる活用を図り、議会のデジタル化を推進するため各種会議のリモート化の実施、議員定数と報酬の検証を実施することとしております。

また、持続可能な開発目標(SDGs)の理念に沿った議会の在り方も求められ、誰一人取り残さないまちづくりや地域の活性化に向けて、執行機関と問題を共有し、町民の福祉向上を進めていかなければなりません。

二元代表制の一翼を担う機関として、執行機関を監視するとともに、役割を十分発揮しながら町政の発展に貢献していくため、これからの議会改革を進め、一歩身近な頼れる議会を目指してまいります。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、本年が皆さまにとりまして健康で、喜びと幸せに満ちた1年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新しい力と町民の力の融合で 明るい未来への取り組みを

平泉町長 青木 幸保

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。新年に当たり、ごあいさつを申し上げます。

皆さまには、新たな希望を胸に新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろから町政に對しましてご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、春の藤原まつり「源義経公東下り行列」など主要イベントを3年ぶりに開催するなど、コロナ禍の中でも町民が一体となって取り組むことで明るい希望が見えました。また、待望の町学習交流施設「エピカ」が完成し、おかげさまで多くの皆さまにご利用いただいております。ますます魅力ある施設となるよう、利用者目線に立った運営を目指してまいりますのでご期待ください。

さて、今なお新型コロナウイルス感染症の影響は続いておりますが、これまでの教訓を生かし、徹底した感染防止対策やワクチン接種、新しい生活様式の取り組みなどによって、徐々にではありますが経済活動との両立が確立されてきております。

コロナとの共存が当面続くであろう今、これまでの取り組みにとられない新たな試みと、それに向かうエネルギー、知恵、協働などが欠かせません。

イベントや事業をコロナ禍前の状況に戻すことはそう容易ではありませんが、ただ元に戻すだけでなく、一つインパクトを加えながら新しい魅力を作り出していくこ

とが重要であります。特に今後、中尊寺金色堂建立900年などの大きな節目を迎えますので、関係機関・団体が連携しながら万全の準備を進め、町を盛り上げていきます。

人口減少の対策としては、若者の定住やUターン・移住希望者に対応した取り組みが重要でありますので、雇用の場を確保するための新たな工業団地の整備や、子育て世代から要望のある公園の整備などの具体の検討を進めてまいります。

農業においては、新たな作物(ヤーコンやブドウなど)の導入による特産品の開発によって、農家の所得の増加によるやりがいづくりと、遊休農地の解消を目指してまいります。

昨年に全国公募でスタートしたプログラム「ミング講座」スバルキャンプをきっかけに、平泉への移住を決めた方が現在、町内の起業に向けた準備を進めています。4月からは「地域おこし協力隊」を配置する予定ですので、こうした新しい力と町民の力の融合によって新しいエネルギーを生み出し、明るい未来をつくる取り組みを進めてまいります。

本年も町民総参加の「チーム平泉」の取り組みを大切にしてまいりますので、町民皆さまのまちづくりへの積極的な参画をお願い申し上げます。

結びに、本年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。